

平成25年度
AI・HALL自主企画

reading evolution
マリンバと物語の響演

火の粉のごとく星に生まれよ

寿歌 IV

まあ、アホにはアホの生きかたしかナイか。
なんやワカランけど、はじまりや。
はじまり、はじまりいい。

作・演出 北村想

音楽
新谷祥子 (marimba & percussion)

出演
桂九雀 (ゲサク)
船戸香里 (キョウコ)
ごまのはえ (ソウジュン)

2013年
10月26日(土)・27日(日)

AI・HALL

作・演出 北村想

音楽
新谷祥子 (marimba & percussion)

出演
桂九雀
船戸香里
ごまのはえ (ニットキャップシアター)



©石川隆三

スタッフ
舞台監督/河村都(CQ) 照明/葛西健一
音響/今里愛・加藤陽一郎(株式会社エスエフシー)
宣伝美術/下東英夫 写真/石川隆三(studio STR)
楽器協力/marimba one, bluemallet

火の粉のごとく星に生まれよ
ほぎうた
寿歌
IV

80年代以降における日本の小劇場演劇の方向性を示唆した不朽の名作『寿歌』(79年初演)。その最新作が、マリンバ&パーカッションの生演奏とともに、ドラマリーディングとして、上演されます(本邦初演)。
核戦争後の瓦礫の荒野に行く旅芸人・ゲサクとキョウコ。そこに禅宗の若き僧ソウジュンが現れる。軽妙なのか深遠なのか、終末の気配の中、これからの「生きる」ことへの問いかけが語られるシリーズ完結編。荒野をわたる風とともに、あなたにも21世紀の「寿歌」が聞こえてくる。

■北村想(きたむら・そう) 劇作家、小説家、エッセイスト。代表作に『寿歌』、『想稿 銀河鉄道の夜』など。『十一人の少年』で第28回岸田國士戯曲賞を、『雪をわたって…第二稿・月のおかるさ』で第24回伊国屋演劇賞を受賞。戯曲だけでなく、小説、童話、エッセイ、シナリオ、ラジオドラマ、コラムなど、活動範囲は広い。

■新谷祥子(あらや・しょうこ) 打楽器奏者。国内外での多様なセッションへの参加やソロとして独創的な舞台を展開する。マリンバを弾きながら歌うシンガーソング マリンバリストとしても活躍中。林英哲、仲井戸麗市、金子飛鳥、本條秀太郎などとの共演をはじめ、井上陽水最新CDにも参加。2ndアルバム『ROSEWOOD SINGER』を発売中。北村想戯曲とのコラボレーションは今回が3作目となる。

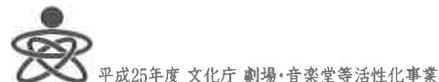
2013年
10月26日(土)19:00
27日(日)14:00

※受付開始は開演の40分前。開場は開演の20分前。
※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

会場・お問合せ
アイホール (伊丹市立演劇ホール)
〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1 [JR伊丹駅前]
TEL:072-782-2000 メール:info@aihall.com
http://www.aihall.com twitter @ai_hall



企画製作:アイホール
主催:公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市
著作権認可番号: So Kitamura 2013 No. 0017 岡野宏文



平成25年度 文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業

料金
前売:1,500円 当日:1,800円
【日時指定・整理番号付自由席】

チケット発売日 平成25年8月30日(金)

チケット取扱
●アイホール
TEL:072-782-2000
メール:info@aihall.com
(お名前・ご来場日時・枚数・ご連絡先を明記ください)
窓口販売:アイホール事務所(9時~22時、火曜日休館)

●Confetti(カンフェティ)
WEB:PC用 <http://confetti-web.com/>
携帯用 <http://cnfti.com/met7585/>
(ご利用にあたり、会員登録(無料)が必要)
TEL:0120-240-540(平日10時~18時)
※ご予約後、お近くのセブン・イレブンにて、代金をお支払いのうえ、
チケットをお受け取りください。(手数料210円)



《名古屋公演》
11月1日・2日 @セツ寺共同スタジオ
お問合せ/office Perky pat(加藤)
TEL:090-1620-4591
メール:pperky@attglobal.net

いやな世の中だと思う。何かしらすで勝ち負けがついていて、何をやってもしょうがないという雰囲気世間をおおっている。今年の酷暑は戦時中にも同じ記録があるそうだが、灯火管制の夜、エアコンもナシで、当時のひとびとは空襲の恐怖と酷暑と両方にどんな気持ちで耐えていたのだろうか。酷暑は自然の産物だから防ぎようがない。だが、空襲は防げる。勝ったものが正しく、負けたら悪者。勝つために、正しいほうになるために戦争してんだなあ。フクシマのケジメもオトシマエもつけないままで、他国に日本の原発を売ろうとしている政府も、頭、変なんじゃないか。まあ、どうでもいいや。私たちは私たちにしか出来ないことをコツコツやろう。黙々と、というわけじゃないな、マリンバとリーディングだからな。たんなるリーディングでない、進化したリーディング、一歩でも半歩でも進めるだけ進もう。悠々自適など私たちに無縁のことだ。
北村想